

# 熱中症情報

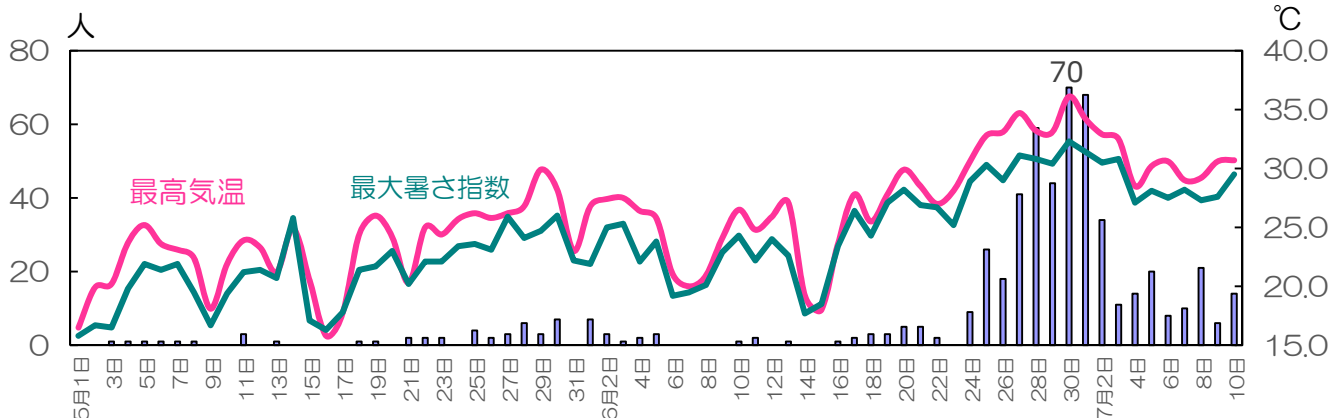
## <搬送数>

令和4年5月1日～7月10日までの搬送数（消防局データを使用）は、計557人（5月43人、6月308人、7月206人）でした。6月30日は最高気温36.1℃で、搬送数が70人/日でした。合計の搬送数は、前週の1.2倍と増加しています。

熱中症は、暑い日が続いてくると多発する傾向があり、気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。

身体がまだ暑さに慣れていない時期は、蒸し暑い日、風が弱い日、日差しが強い日等に増加する傾向がありますので、こまめに水分を取り、室温を適切に調節し、暑さから身を守りましょう。

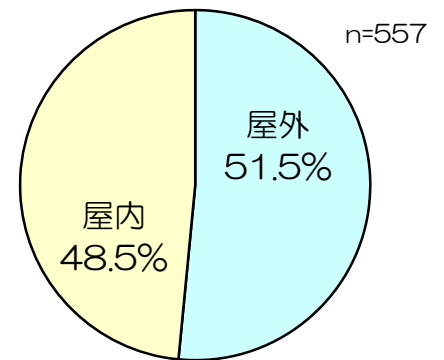
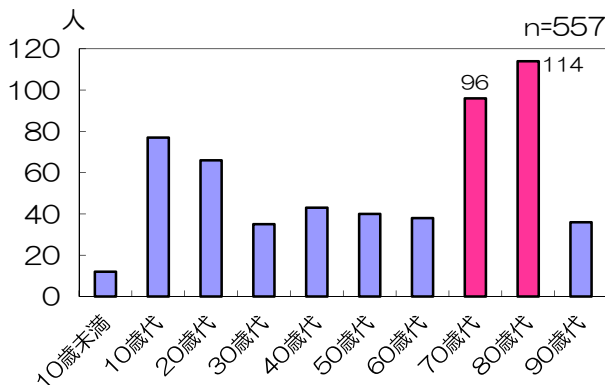
昨年引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の防止とともに、熱中症予防にも心掛けましょう。



**暑さ指数とは？**人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

## <年齢別>

80歳代が114人（20.5%）で最も多く、**<発生場所>** 屋外51.5%、屋内48.5%で、次に70歳代96人（17.2%）でした。屋外での発生が多くなっています。



## <重症度>

軽症57.8%、中等症37.5%、重症3.9%、重篤0.7%でした。重症と重篤の割合が増加しました。高齢者（65歳以上）は中等症以上の割合が59.8%で、高齢者に重症化する傾向がみられます。

